

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	生理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 火曜3限	教室名	4校舎 401
担 当 教 員	酒井崇	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
人体の各器官における諸機能について学ぶ。植物機能と動物機能の一部について理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験にて60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
適宜プリント配布						
《授業外における学習方法》						
随時、授業の最初に前回授業内容に係わる確認問題を実施するので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
生理学は、内科学や内分泌、聴覚機能などの理解をするための基礎となります。正常な人体の働きを理解することで、異常な状態(疾病)を理解することができるようになるための重要な科目です。						
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 一般生理学の基礎を説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。		
	各コマにおける授業予定	細胞の構造、細胞膜の機能、興奮と伝達、筋収縮と活動電位、シナプス伝達について学ぶ。				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 血液、循環の働きを説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。		
	各コマにおける授業予定	血液の成分、血液凝固、血液型、心臓の機能、血液循環、循環系の調節について学ぶ。				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 感覚機能の基礎、睡眠・記憶について説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。		
	各コマにおける授業予定	感覚機能、脳波について学ぶ。				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 呼吸の働きを説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。		
	各コマにおける授業予定	呼吸調節、呼吸運動について学ぶ。				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 消化器系、泌尿器系について説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。		
	各コマにおける授業予定	嚥下、消化吸収、体液調節、尿の生成と排泄について学ぶ。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌系について説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	内分泌について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能の基礎について説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	脳、神経について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の成り立ち、働きについて説明することができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	自律神経について学ぶ。		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			